

下北山小中学校だより 10月

2024年10月1日

文責 高井 成泰

◎さわやか文化祭とウェルビーイング

9月20日(金)に「さわやか文化祭」を行いました。舞台発表では合奏や合唱、劇に漫才と児童生徒は多彩な姿を披露し、また作品展示でも日頃授業等で取り組んだ個性あふれる作品を観ていただく機会となりました。どの学年も限られた時間の中、一生懸命に練習を重ね、今年のテーマ「色々なことに挑戦し、みんな笑顔なさわやか文化祭」をみごとに表現した文化祭となったと思います。子ども達の表情や姿からは、自信とやる気を感じ、取組を通して成長を感じる機会となりました。

今、日本の教育基本計画に「ウェルビーイング」、一人一人の幸福感を育成することが大きくあげられています。「ウェルビーイング」とは、身体的・精神的・社会的によい状態にあり、すべてが満たされている状態をいいます。教育を行う目的は、「子ども達一人ひとりと社会全体が、現在から将来にわたって幸せで満ち足りた状態となるため」であり、個人も社会もウェルビーイングな状態を実現することが、教育の目的そのものと言うことができるのではないかと思います。ウェルビーイングを育むための具体的な要素として、幸福感・学校や地域のつながり・協働性・多様性の理解・自己肯定感・自己実現・心身の健康・安心安全な環境等があげられており、これらは本校の教育でも重要項目として位置づけ、日々の教育活動で意識して取り組んでいることでもあります。今回のさわやか文化祭でご覧いただいた様々な取組や後で述べる稲刈り体験、後期課程でお世話になっています林業体験、職場体験など、地域の方々のご理解とご協力なしでは行うことができません。様々な体験や経験、学習を通して子ども達はウェルビーイングを育んでいます。学校生活での大半は授業時間となります。子ども達が長い時間を幸福に過ごすために、次の3点「元気な状態(医学的に)」、「ごきげんな状態(前向き・快樂的に)」、「いきいきとした状態(やりがい・道徳的に)」が大切と言われています。これらの側面を意識して、私たちは授業に臨めればと思います。手前味噌になりますが、下北山小中学校の先生方は、子どもを中心に据え、ウェルビーイングの向上に工夫、努力されていると感じています。子ども達一人ひとりの個性や表現が発揮されたさわやか文化祭は、子ども達のウェルビーイングを育む貴重な機会となりました。10月5日(土)に開催する保小中合同運動会も貴重な機会となります。ご声援よろしくをお願いします。



10月行事予定



- 1日(火) 運動会予行
- 2日(水) 運動会予行予備日
- 3日(木) なかよし集会
- 4日(金) 運動会準備 スクールカウンセラー来校
- 5日(土) 保小中合同運動会
- 6日(日) 運動会予備日
- 7日(月) 振替休日
- 9日(水) 9年学力診断テスト 職員会議
14:10 下校
- 10日(木) テスト一週間前 1,2年校外学習
- 11日(金) いのちの教室(4~6年、7~9年)
- 14日(月) スポーツの日
- 17日(木) 中間テスト(後期1日目)
- 18日(金) 中間テスト(後期2日目)
- 21日(月) 諸費集金
- 22日(火) 5年生出前授業(中村博文様)
- 23日(水) スクールソーシャルワーカー来校
- 25日(金) 第68回県へき地教育振興大会(下北山村・上北山村大会)
- 26日(土) 郡陸上記録会(前期 下市中央公園)
- 28日(月) なかよし遊び(4年)
- 29日(火) 職員講話(石丸先生) 剣道(1,2限)
- 30日(水) クラブ活動 剣道(1,2限)
- 31日(木) 全日授業参観(7,8年学級懇談会
9年進路説明会) 剣道(1,2限)

◎5,6年生稲刈り

9月12日(木)に5,6年生が1学期に自分たちで植えた稲を刈りに行ってきました。子ども達は手慣れたもので、ものすごい速さで刈り取る姿に、大人は感心しきりでした。毎年貴重な機会を与えていただき心から感謝いたします。何気なく食べているものを育てることの大変さ、苦勞を知ることで、感謝の心が育まれることと思います。



◎体育館にスクリーン設置

P T Aから体育館舞台にスクリーンを寄贈していただきました。文化祭や学習発表会等で活用させていただきます。大変高価なものを寄贈していただきました本当にありがとうございました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。